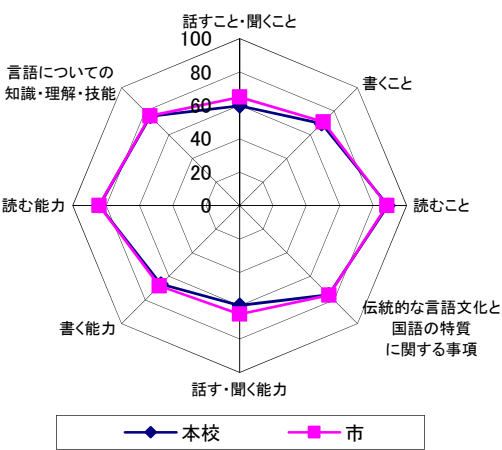


宇都宮市立国本中央小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	59.8	65.0	62.9
	書くこと	69.5	70.9	71.3
	読むこと	88.9	88.4	87.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.5	75.8	75.3
観点別	話す・聞く能力	59.8	65.0	62.9
	書く能力	66.5	68.0	68.0
	読む能力	84.1	84.2	82.8
	言語についての知識・理解・技能	75.6	75.9	75.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●「話し手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞くことができる」設問では、市の平均を6ポイント下回っており、他者の話を正確に聞き取ることに課題がある。	・話の内容を正確に聞き取る力を高めるために、話の要点を簡潔にメモしながら聞く活動を、授業や日常の活動の中に取り入れていく。
書くこと	○「指定された長さで書くこと」「2段落構成で書くこと」に関しては、市の平均をやや上回っており、条件をつけて書く指導を繰り返してきた成果が上がっていると言える。 ●「資料を読み取って、文章に書き表す内容を理解すること」については、市の平均を6.8ポイント下回った。	・国語だけでなく、他教科の学習の時間の活用して、文章資料を正しく読み取るためのポイントを示した上で、読み取ったことを伝えあう時間を確保したり、文章に対する自分なりの意見を説明したり書いたりする機会を意図的に設ける。
読むこと	○説明文の「内容的確な読み取り」については、市の平均を3ポイント上回った。 ●「登場人物の心情を読み取ること」や、「目的や必要に応じて、場面の描写と登場人物の心情を読み取ること」に関しては、市の平均を2ポイント下回っており、物語の内容の読み取りに課題が見られた。	・今まで同様、日頃から本に親しみ読書への関心を高められるよう、図書館利用の奨励や朝の読書タイムの活用を図る。 ・登場人物の心情は、直接的に描写されている場合もあるが、登場人物の言動や情景などとおして、暗示的に表現されている場合もある。このような表現の仕方にも注意し、想像を豊かにしながら読むことができるように、文学教材の読解の指導を進める。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「国語辞典の使い方」についての設問では、市の平均を3ポイント上回っており、国語辞典を教室近くに常備し、日常的に活用できるようにしたことの結果が表れた。 ●「文の構成(述語)」についての設問では、市の平均を9.1ポイント下回った。 配当漢字の読み書きについては、市の平均を上回っているものと、下回っているものが混在している。	・文のねじれが生じないように、主語と述語が対応しているか見直す習慣をつける。漢字の小テストや漢字練習の時間を確保したり、苦手な漢字を取り上げて指導したりすることで、漢字の定着を図る。